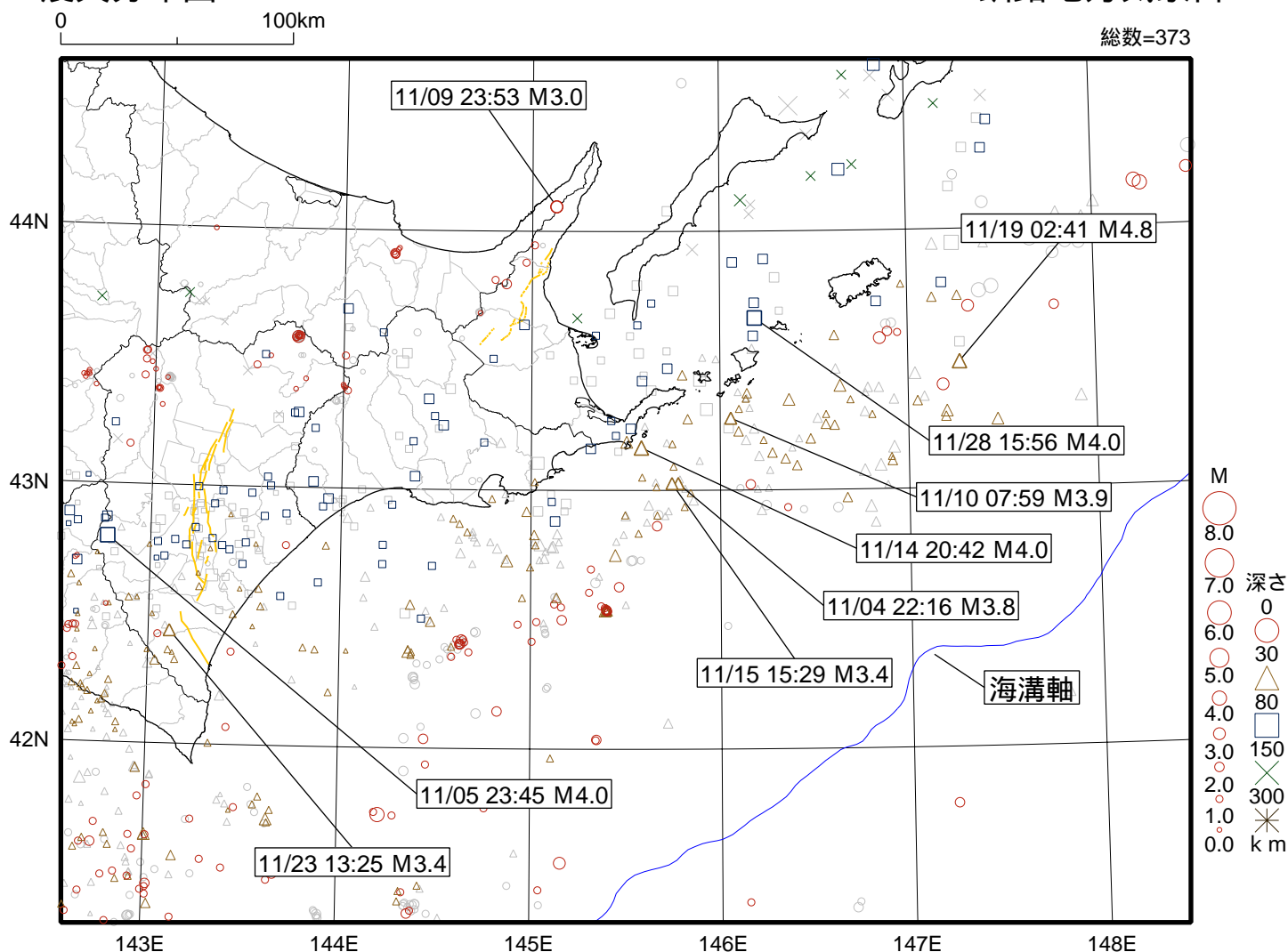


釧路・根室・十勝地方の地震活動図

2023年11月1日～2023年11月30日

震央分布図

釧路地方気象台



地震概況 (2023年11月)

この期間、釧路・根室・十勝地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は12回(先月10月は10回)で主な地震は次のとおりです(詳細は「釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表」を参照)。

14日20時42分、根室半島南東沖を震源とする地震(M4.0、深さ51km)により、根室市で震度2を観測したほか、釧路・根室地方で震度1を観測しました。また、根室半島南東沖を震源とする地震は4日(M3.8、深さ48km)、10日(M3.9、深さ49km)、15日(M3.4、深さ46km)にも発生し、それぞれ根室市で震度1を観測しました。

20日06時01分、青森県東方沖を震源とする地震(M5.9、深さ52km、震央分布図の範囲外)により、浦幌町で震度3を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度2～1を観測しました。

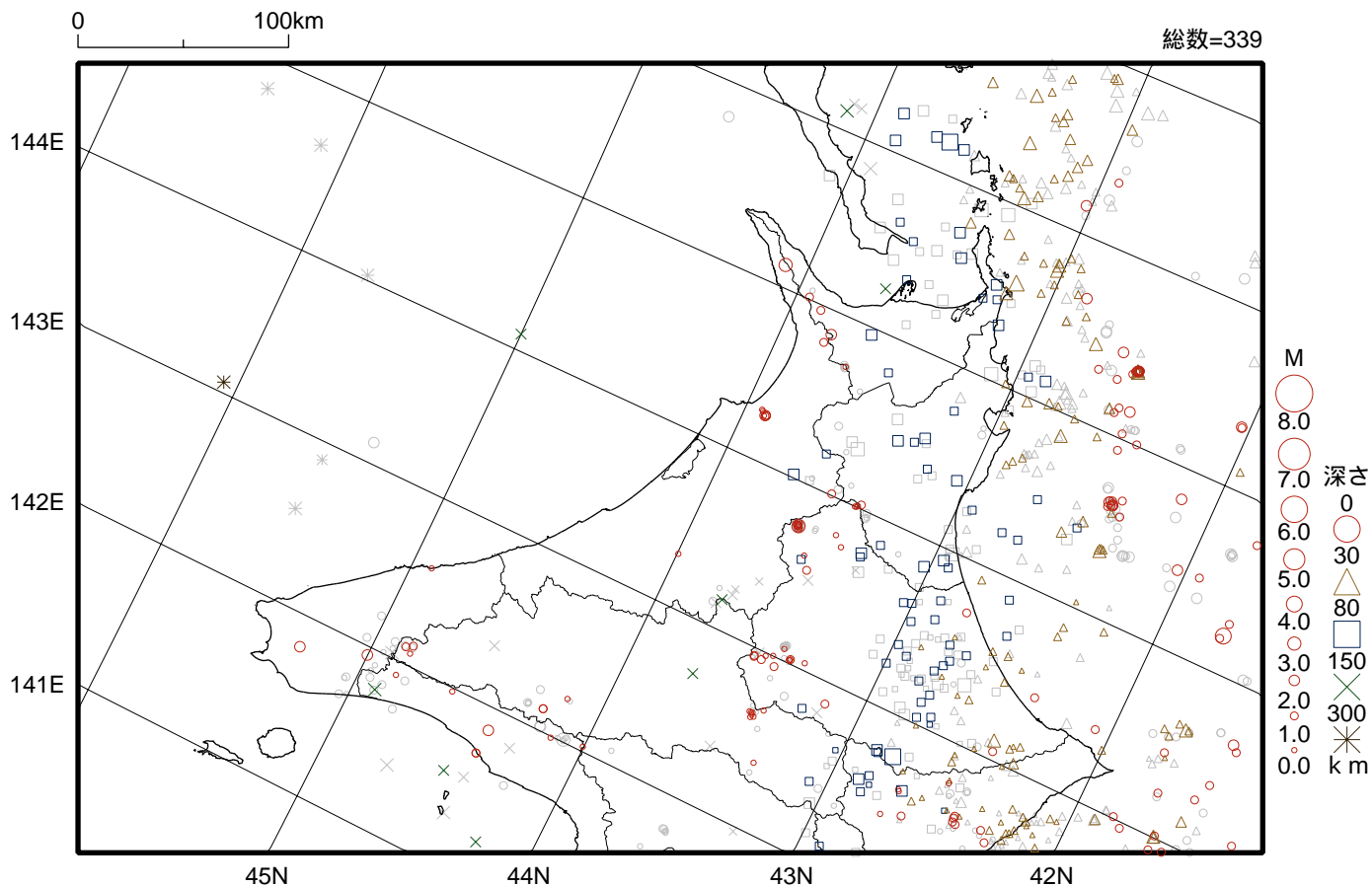
この活動図は、釧路地方気象台のホームページに掲載しています。

https://www.data.jma.go.jp/kushiro/bosai/earthquake/earthquake_data.html

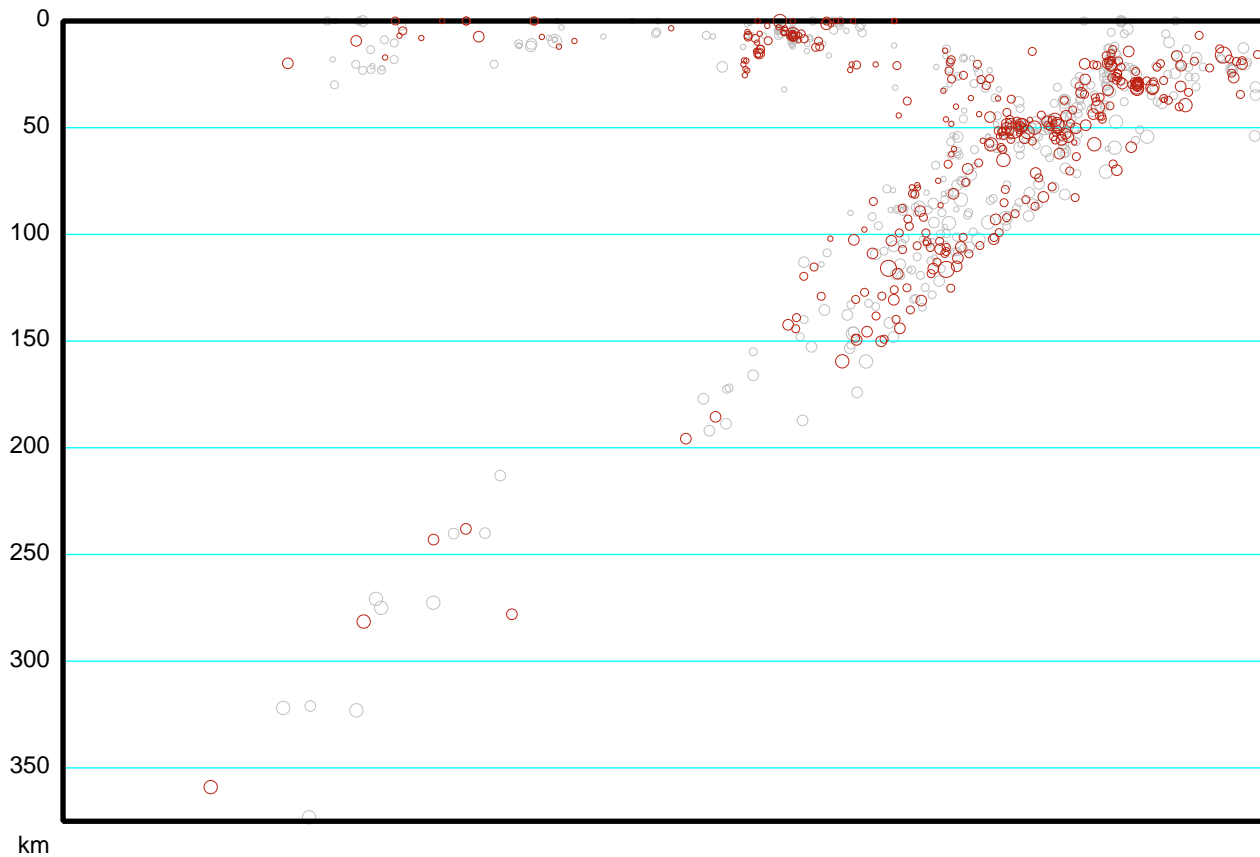
この資料に関する問い合わせ先 釧路地方気象台 TEL 0154-31-5110

2023年11月1日 ~ 2023年11月30日

震央分布図



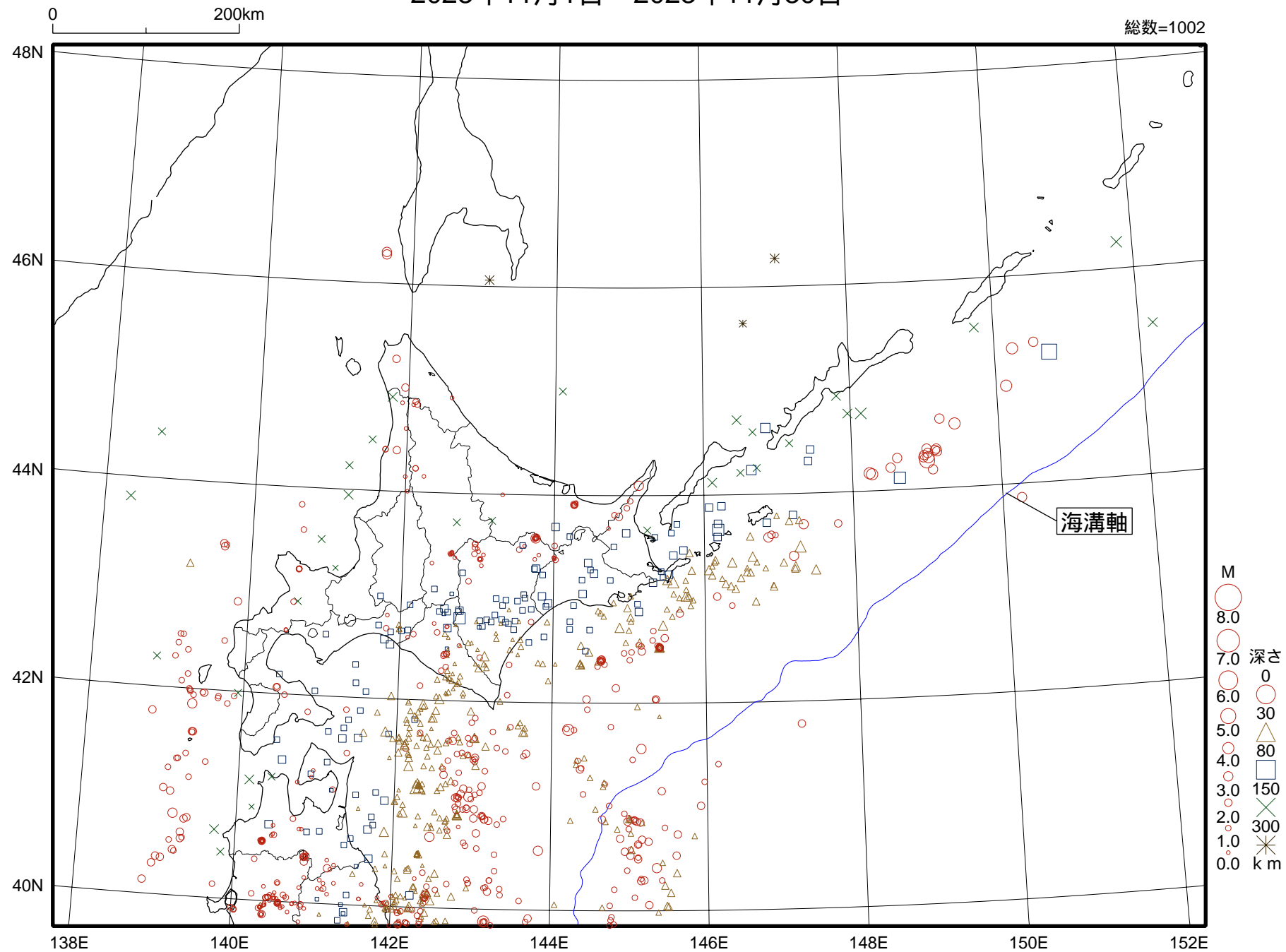
断面図



北海道の地震活動図

2023年11月1日 ~ 2023年11月30日

震央分布図



釧路・根室・十勝地方で震度1以上を観測した地震の表(2023年11月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2023年11月4日 根室地方	22時16分 震度1	根室半島南東沖 根室市瑠瑠瑠*(09)	43°01.5 N	145°46.6 E	48 km	M3.8
2023年11月5日 十勝地方	23時45分 震度2 震度1	十勝地方中部 浦幌町桜町*(21) 十勝大樹町生花*(16) 新得町2条*(08) 帯広市東4条(06) 帯広市東6条*(08) 芽室町東2条*(10) 幕別町忠類錦町*(08) 幕別町本町*(09) 十勝池田町西1条*(14) 豊頃町茂岩本町*(12) 本別町北2丁目(07) 本別町向陽町*(08) 中札内村東2条*(06) 更別村更別*(05) 十勝大樹町東本通*(06)	42°47.8 N	142°46.3 E	116 km	M4.0
2023年11月8日 根室地方	17時16分 震度1	択捉島南東沖 標津町北2条*(05) 根室市瑠瑠瑠*(06)	44°36.7 N	149°24.2 E	30 km	M4.9
2023年11月9日 根室地方	23時53分 震度2 震度1	網走地方 羅臼町岬町*(17) 羅臼町緑町*(12)	44°05.6 N	145°07.7 E	0 km	M3.0
2023年11月10日 根室地方	07時59分 震度1	根室半島南東沖 根室市瑠瑠瑠*(14)	43°16.6 N	146°03.3 E	49 km	M3.9
2023年11月10日 十勝地方 釧路地方 根室地方	19時10分 震度2 震度1 震度2 震度1 震度2 震度1	千島列島 浦幌町桜町*(15) 十勝大樹町生花*(10) 釧路町別保*(18) 標茶町塘路*(17) 白糠町西1条*(17) 釧路市幸町(11) 釧路市阿寒町中央*(13) 釧路市音別町中園*(14) 厚岸町尾幌(07) 厚岸町真栄*(14) 浜中町湯沸(06) 浜中町茶内*(12) 標茶町川上*(09) 鶴居村鶴居東*(09) 標津町北2条*(19) 別海町常盤(21) 別海町本別海*(17) 標津町古多糠(05) 標津町薫別*(07) 羅臼町緑町*(08) 羅臼町岬町*(10) 根室市弥栄(08) 根室市牧の内*(10) 根室市厚床*(13) 根室市落石東*(14) 根室市瑠瑠瑠*(14)	45°14.7 N	150°44.9 E	130 km	M5.9
2023年11月14日 根室地方 釧路地方	20時42分 震度2 震度1 震度1	根室半島南東沖 根室市牧の内*(17) 根室市厚床*(20) 根室市落石東*(15) 標津町北2条*(10) 別海町常盤(07) 別海町本別海*(12) 根室市弥栄(05) 根室市瑠瑠瑠*(12) 浜中町茶内*(14) 標茶町塘路*(09)	43°09.8 N	145°34.9 E	51 km	M4.0
2023年11月15日 根室地方	15時29分 震度1	根室半島南東沖 根室市瑠瑠瑠*(08)	43°01.5 N	145°44.6 E	46 km	M3.4
2023年11月19日 根室地方	02時41分 震度1	北海道東方沖 羅臼町岬町*(08) 別海町常盤(07) 根室市瑠瑠瑠*(11)	43°29.2 N	147°16.5 E	73 km	M4.8
2023年11月20日 十勝地方 釧路地方 根室地方	06時01分 震度3 震度2 震度1 震度2 震度1 震度2 震度1	青森県東方沖 浦幌町桜町*(29) 上土幌町上土幌*(15) 鹿追町東町*(16) 新得町2条*(16) 帯広市東4条(20) 帯広市東6条*(18) 音更町元町*(18) 土幌町土幌*(15) 十勝清水町南4条(18) 芽室町東2条*(19) 幕別町忠類錦町*(21) 幕別町本町*(16) 十勝池田町西1条*(18) 豊頃町茂岩本町*(15) 中札内村東2条*(17) 更別村更別*(18) 十勝大樹町東本通*(24) 広尾町並木通(20) 広尾町白樺通(17) 上土幌町清水谷*(14) 足寄町上螺湾(08) 幕別町忠類明和(08) 本別町北2丁目(12) 本別町向陽町*(14) 釧路市阿寒町中央*(17) 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*(18) 釧路市音別町中園*(23) 釧路町別保*(20) 標茶町塘路*(15) 白糠町西1条*(20) 弟子屈町美里(08) 弟子屈町弟子屈*(10) 釧路市幸町(10) 釧路市音別町尺別(12) 厚岸町尾幌(07) 厚岸町真栄*(14) 浜中町湯沸(05) 浜中町茶内*(13) 標茶町川上*(09) 鶴居村鶴居東*(10) 標津町北2条*(18) 別海町常盤(17) 中標津町養老牛(06) 別海町本別海*(12) 根室市牧の内*(05) 根室市厚床*(11) 根室市瑠瑠瑠*(10)	41°10.0 N	142°17.5 E	52 km	M5.9
2023年11月23日 十勝地方	13時25分 震度1	十勝地方南部 浦幌町桜町*(13)	42°26.2 N	143°06.6 E	58 km	M3.4
2023年11月28日 根室地方 釧路地方	15時56分 震度2 震度1 震度1	国後島付近 別海町常盤(17) 根室市牧の内*(16) 根室市落石東*(15) 根室市瑠瑠瑠*(15) 標津町北2条*(10) 別海町本別海*(08) 根室市豊里(05) 根室市厚床*(08) 標茶町塘路*(07)	43°39.8 N	146°11.1 E	116 km	M4.0

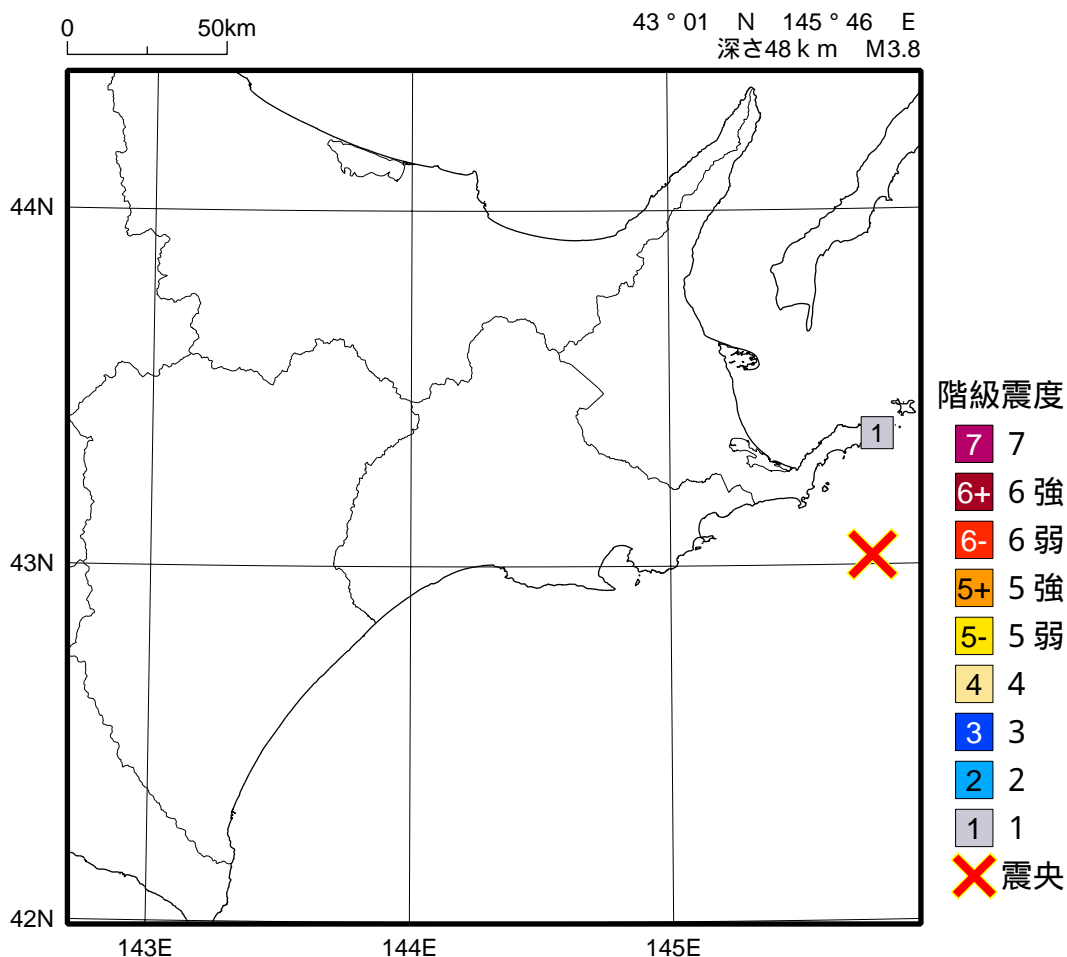
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

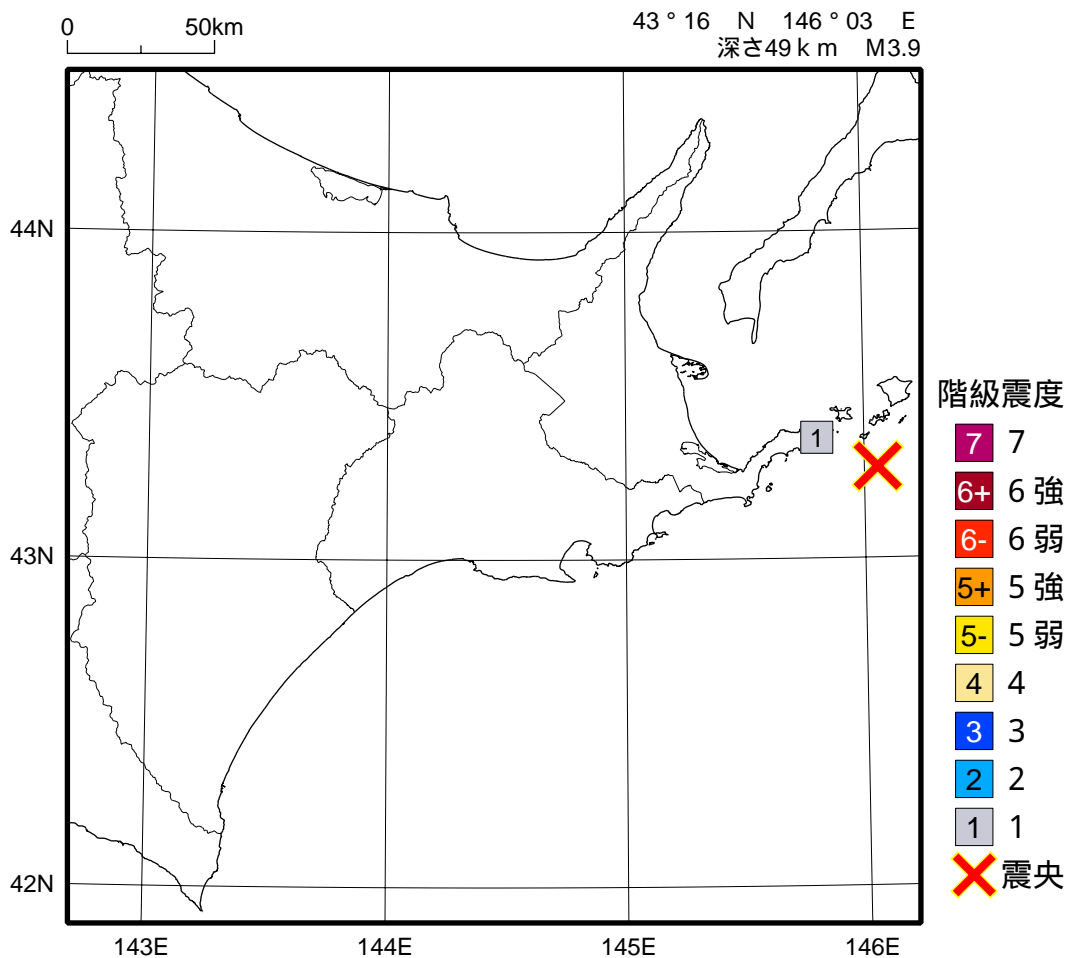
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

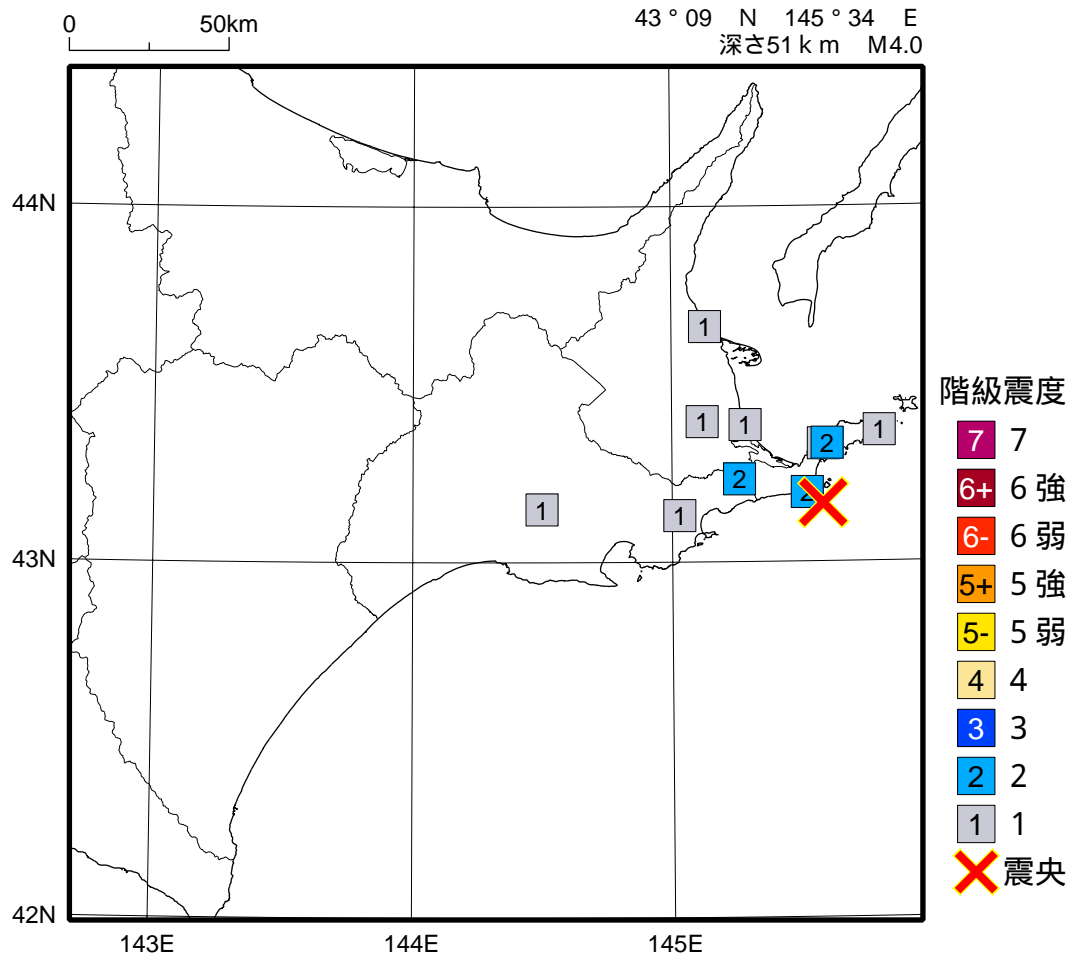
2023年11月 4日22時16分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



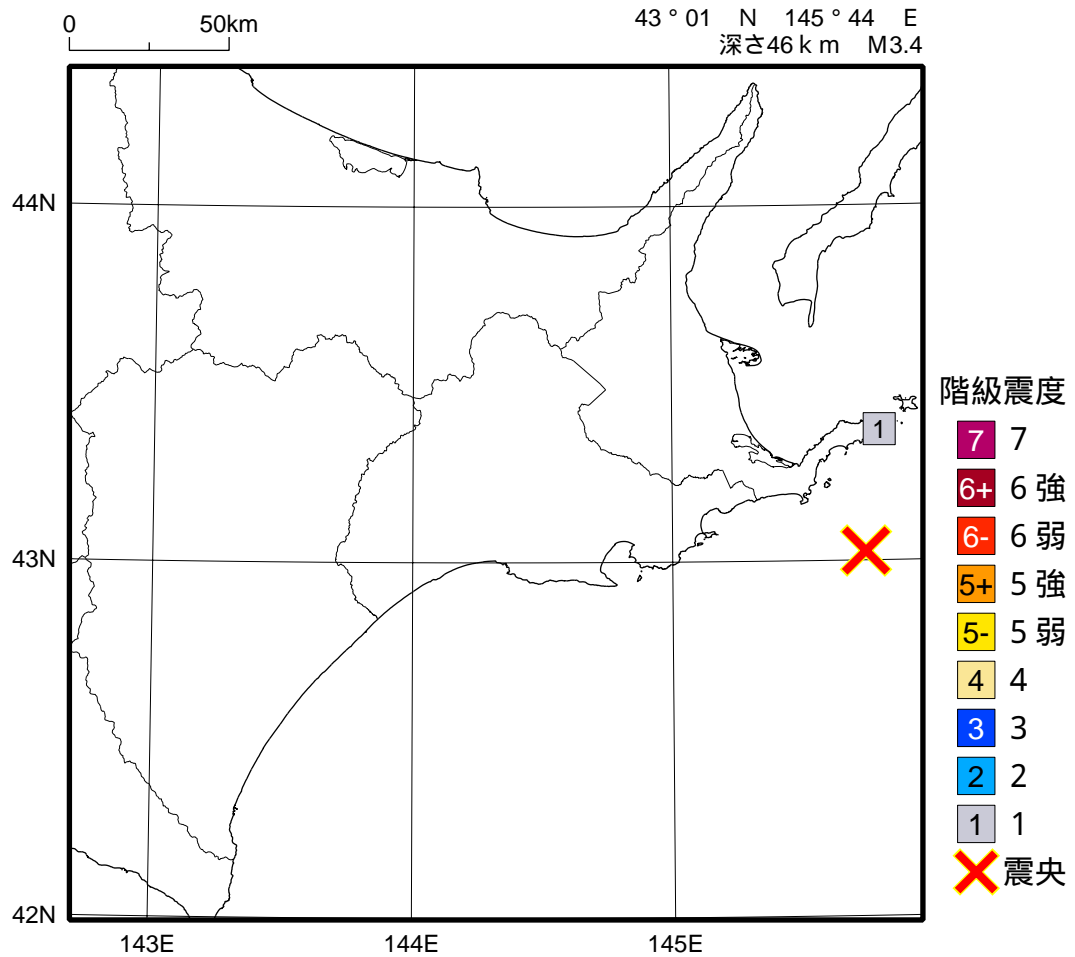
2023年11月10日07時59分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



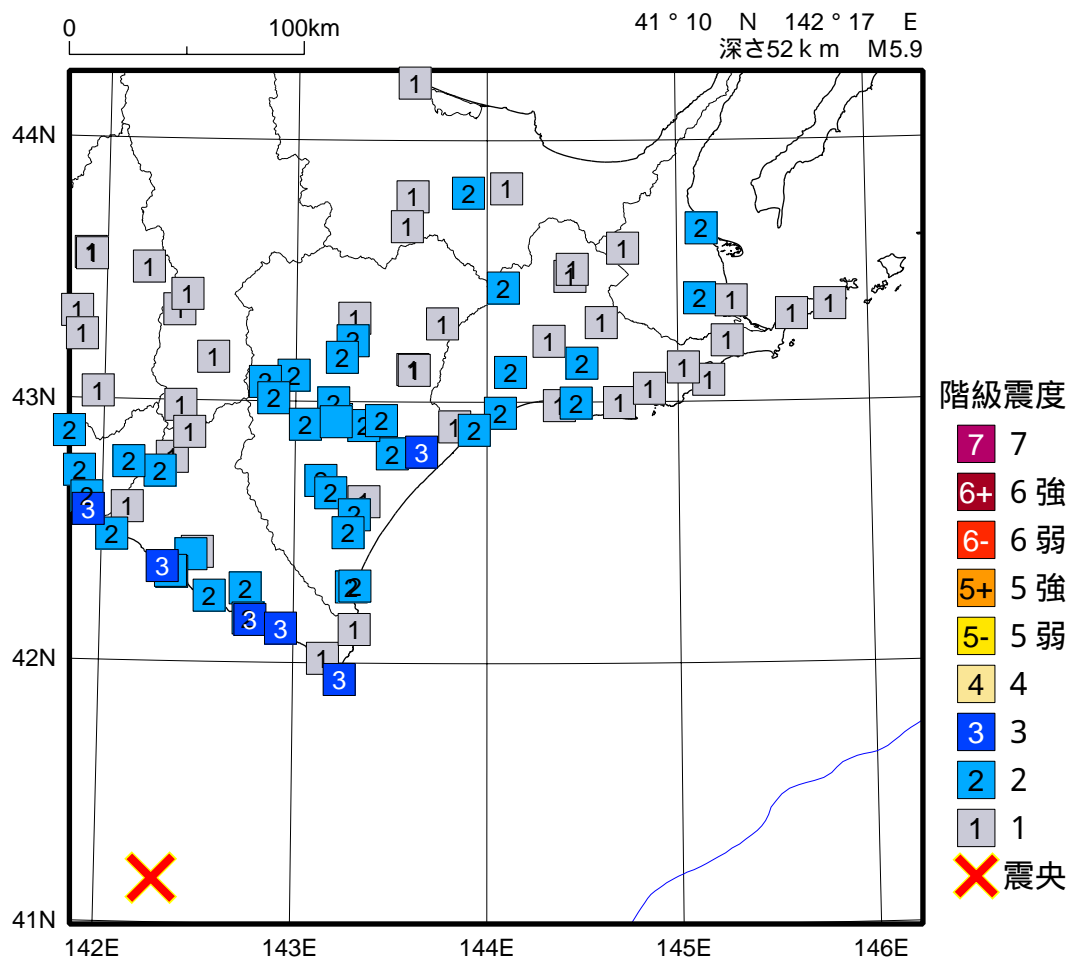
2023年11月14日20時42分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



2023年11月15日15時29分 根室半島南東沖の地震の震度分布図



2023年11月20日06時01分 青森県東方沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～遠地地震・火山噴火等による津波～

●遠地地震に関する情報と津波警報等の発表

国外で発生した地震を「遠地地震」といい、この遠地地震に伴う津波を「遠地津波」と呼んでいます。

気象庁では、国外でマグニチュード7.0以上の地震が発生した場合や、都市部など著しい被害が発生する可能性のある地震を観測した場合などに、地震の発生から30分程度をめぐりに「遠地地震に関する情報」として、地震の発生時刻、発生場所（震源）およびその規模（マグニチュード）、日本や国外への津波の影響や観測状況について発表しています。津波の影響や観測状況に関しては、新たなデータに基づいて、随時情報を更新します（図1）。遠地津波については、日本沿岸での高さを予想し、被害のおそれがある場合、津波が到達する概ね2時間前までに津波警報等を発表します。

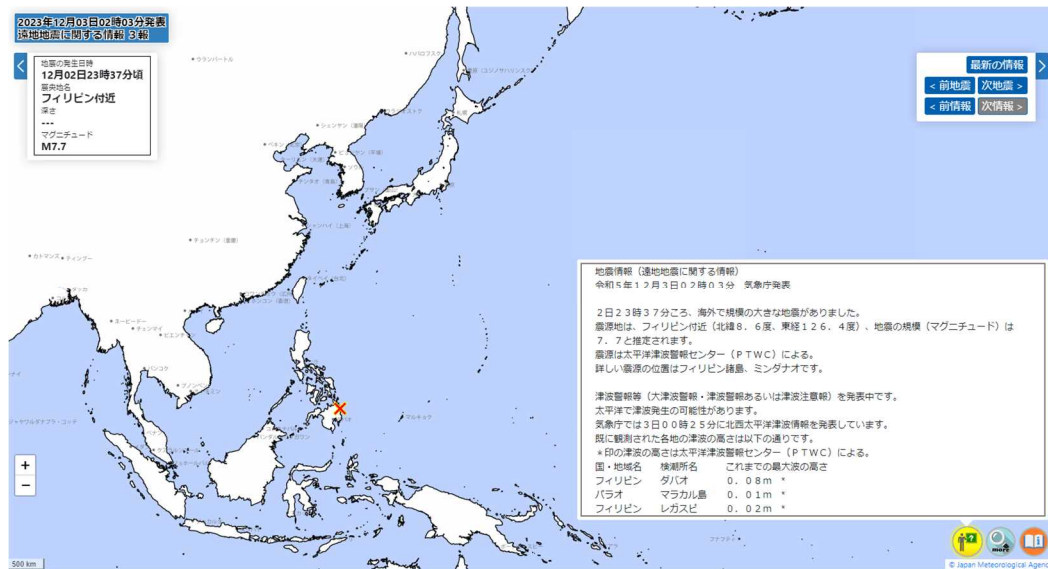


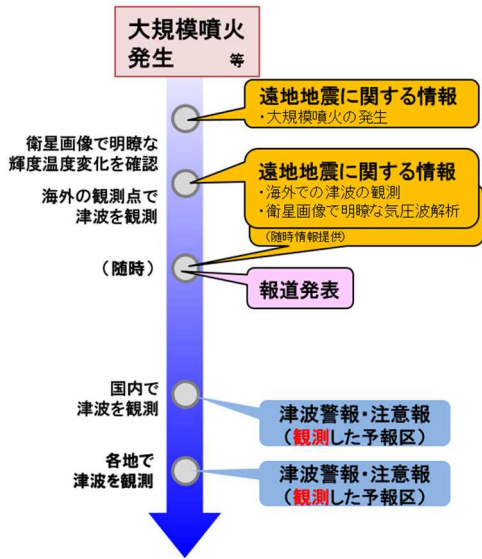
図1 遠地地震に関する情報の例 (気象庁 HP)

●火山噴火等による津波

津波は地震に伴い発生することが多いですが、火山噴火や山体崩壊等の火山現象が要因で発生することもあります。令和4年1月には、南太平洋トンガ諸島での大規模火山噴火に伴い発生した気圧波により、日本で1m以上の津波を観測しました。また、北海道では、過去に渡島大島や北海道駒ヶ岳の山体崩壊に伴った津波による大きな被害が発生した記録があります。

この火山噴火等による津波も、津波警報・注意報を用いて注意・警戒を呼びかけます（図2、図3）。国外の大規模火山噴火等により津波発生の可能性がある場合は、噴火発生から1時間半～2時間程度で遠地地震に関する情報を発表してお知らせします。

ただし、津波の原因となる火山現象等を覚知できなかつたり、覚知できたとしてもこれらの津波は規模の予想が極めて困難なため、津波警報等は、原則として国内沿岸に到達した津波の観測状況に基づき発表することになります。また、その内容は随時切替えることがありますので、十分な留意が必要です。



■大規模噴火による気圧波に伴う津波

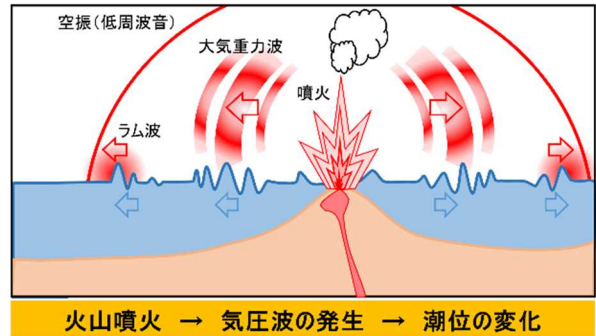
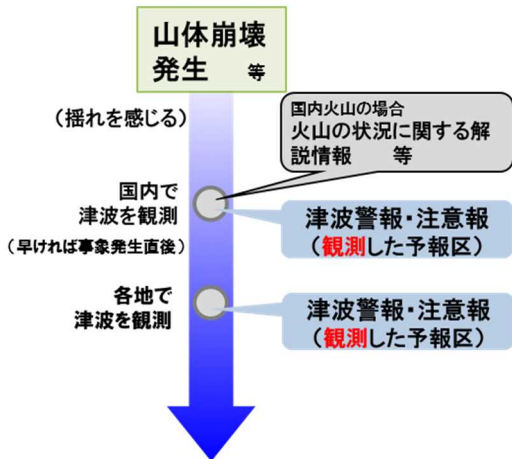
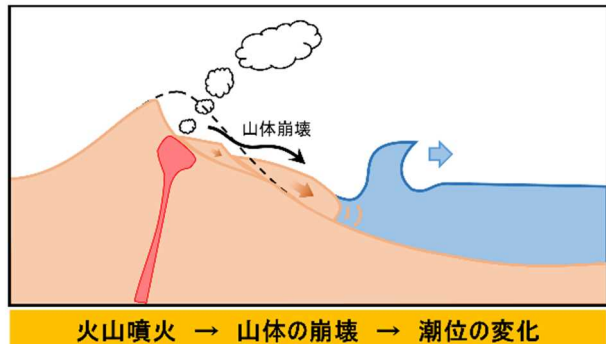


図2 火山噴火に伴う気圧波による津波の情報発表シナリオ



■火山活動による山体崩壊に伴う津波



※津波を観測する前に火山情報や津波警報等を発表できない場合が多いと想定。

図3 火山活動による山体崩壊による津波の情報発表シナリオ

●津波警報等が発表された際の避難行動

以上のような津波の場合でも、津波警報等が発表された場合に取りべき行動は、日本付近で発生した地震による津波の場合と変わりません。遠く離れた国外で発生した地震や噴火では国内で揺れを感じることはありませんが、決して油断せず、津波警報等が発表されたら危険な場所から避難し、警報等が解除されるまで避難行動をとり続けてください。

遠地津波は到達するまでに時間的猶予があるため、各人が適切な避難行動をとれば必ず人的被害を抑えることができます。遠地地震や火山噴火等による津波に対して正しい知識を持ち、もしもの時に落ち着いて行動できるよう備えておきましょう。